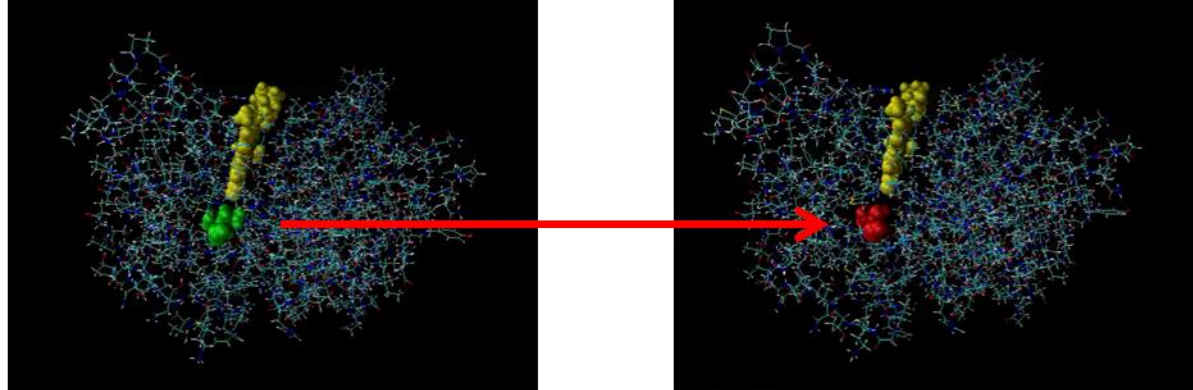


研究目的

「富岳」での分子動力学計算によって、患者由来の遺伝子多型・変異がタンパク質のダイナミクスに与える影響を明らかにすることで、分子病態・薬剤反応性・薬剤設計に関する知見を臨床現場、創薬現場に提供する。

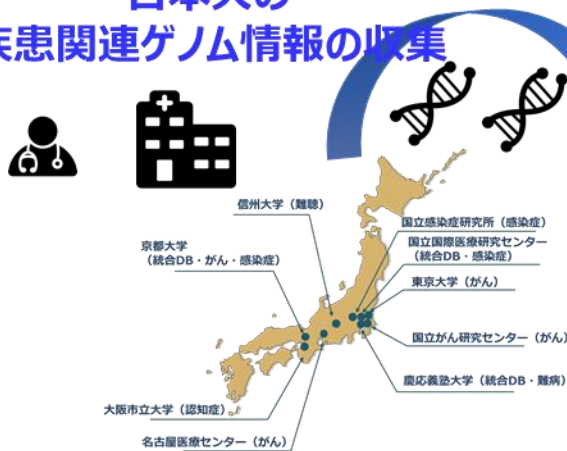
富岳
×
分子動力学計算



1000種の患者由来の
遺伝子変異・多型

分子病態解析
薬剤反応性推定
薬剤分子設計

日本人の
疾患関連ゲノム情報の収集



臨床ゲノムデータベース

治療方針



臨床現場

創薬戦略

創薬現場

